

原発事故

いのちとくらしを守っていくために

原発事故から5年半となりますが、いまだ事故は継続しています。一方、政府の「福島復興」のかけ声は高まっています。放射線量の高い帰還困難区域にまで、一部避難指示解除していく方針が出されています。ここで語られる“復興”は、国の威信や経済を優先する姿勢で、住民のいのちを守るという視点には立っていません。放射線量評価や健康調査を怠り、データを公開しないために人々は被ばくを強要され、さまざまな被害を受けています。この状況は、「調べない、知らせない、助けない」そして「切り捨てる」といっても過言ではありません。

責任を取ろうとしない国や東電に対し、被害を受けた住民や避難者が各地で声をあげています。裁判報告として健康被害に対する論点をお知らせします。また、実際に甲状腺がんが多発する中、なぜ健康を守る対策が置き去りにされているかを考えます。除染でごまかす強引な帰還とそれらを推し進める復興政策を問い直します。「調べて、知らせて」この現状に風穴を開けていきたいと思えます。後半は、会場の皆さんとの意見交換の場とします。

主催：高木学校

日時：2016年10月29日(土) 10:30~17:30 (開場10:00)

会場：新宿区環境学習情報センター (エコギャラリー新宿2階)

東京都新宿区西新宿2-11-4

新宿中央公園内

- ・新宿駅西口徒歩15分
- ・新宿駅西口バスターミナル17番乗場
「十二社池の下」バス停下車徒歩1分
- ・大江戸線「都庁前」駅A5番より徒歩5分
- ・丸の内線「西新宿」駅2番より徒歩10分

資料代 1,000円

(当日受付にてお願いします。)

申込：参加ご希望の方は郵便、Fax、Eメール、ホームページから事前にお申込みください。



高木学校事務局 〒162-0065 東京都新宿区住吉町8-5 曙橋コーポ 2階B

Tel : 03-3353-2928 Fax : 03-3357-3801

Eメール : takasas@ja.main.jp ホームページ : <http://takasas.main.jp>

原発事故

いのちとくらしを守っていくために

<プログラム>

<10:30～12:30>

【講演1】 裁判報告：損害賠償・避難の正当性

崎山比早子(医療被ばく問題研究グループ)

【講演2】 健康被害対策、なぜできないのか？

奥村晶子(医療被ばく問題研究グループ)

【講演3】 除染と帰還政策

瀬川嘉之(医療被ばく問題研究グループ)

<13:30～14:10>

【講演4】 『創造的復興』と政策の評価

山田千絵(くらしの中からかえるプロジェクト)

<14:30～17:30>

【意見交換】

コーディネーター：山田千絵(くらしの中からかえるプロジェクト)

----- 参加申込書 (Fax は切り取らずに送信ください) -----

FAX送付先 03-3357-3801

高木学校第20回市民講座に参加申し込みます。2016年 月 日

お名前(1)	
連絡先住所 〒	
電話	E-mail
お名前(2)	お名前(3)
連絡事項など：	